

第5章 基本理念と基本方針

第1節 基本理念

耳取遺跡は、縄文人が周辺の豊かな環境と資源を上手に活かして約三千年も同じ場所に住み続けてきた、三千年間の縄文人の記憶が眠る場所である。

また、現在も貴重な動植物のみられる豊かな自然環境が残されており、見附市街地近郊にありながら周りを見渡しても人工的な構造物が視界に入らない、縄文時代と同じ構成要素の空間となっている。

これらの価値を生かし、耳取遺跡の保存活用を進めるため、下記のとおり大綱を示す。

基本理念

**【耳取じょうもん三千年の森
～「空」、「大地」、「森」に包まれ縄文の風を感じる～】**

- ・耳取の縄文集落は、周囲の豊かな自然環境と密接に関わっており大きな集落を三千年もの間維持していた。
- ・当史跡は、現在も空、大地、森に囲まれ、人工構造物のいっさい見えない空間構成となっており、縄文時代と近い環境を体験することができる。
- ・当史跡は、来訪者が、この「空」、「大地」、「森」などの環境に囲まれて、縄文時代の風景や生活様式、楽しさなどを体験できる場となるような保存活用を目指す。

第2節 基本方針

上記に示した大綱を実現するため、以下の基本方針に基づき計画を進めていく。

【保存管理】

- ・遺跡とともに「空」、「大地」、「森」で囲まれた環境を維持していく保存管理を図る。



図 5-1 耳取遺跡周辺の環境

空

縄文人も見た空の景色
空の恵み、天候

- ・夕日の景色
- ・星空
- ・雪
- ・雨

夕日の沈む景色

夜の星空

大地

縄文人が暮らした大地

- ・縄文3時期の集落（住居群、広場など）
- ・ひすいの大珠、土器等の出土品
- ・縄文人の暮らし、営み

森

縄文人の生活と密接に関わっていた森と生態系

- ・豊かな自然環境
- ・植物や木の実の採取
- ・作物の栽培、保存
- ・動物、狩猟

図 5-2 縄文時代における「空」、「大地」、「森」と暮らしの関わり

- ・三千年後の未来にも縄文文化や自然を伝えるため、遺構と自然を一体的に保全管理する。

【活用】

- ・「空」、「大地」、「森」の環境を活かし、幅広い利用者に対応した多様な活用プログラムを提供する。
- ・本質的価値を的確に伝えとともに、自然を活かした縄文の暮らしが体験できる機会を提供する。
- ・地域資源を活かした幅広い世代への学習機会を提供する。

【整備】

- ・史跡指定地に加え「空」、「大地」、「森」の環境を保全・活用できるよう整備する。
- ・三千年の間、縄文人が暮らしてきたいにしえの浪漫を感じ、浸れる場を提供する。

【運営・体制】

- ・「空」、「大地」、「森」の要素を活かした多様な活動が行えるよう、市民や事業者、多分野の専門家が積極的に関わる体制とする。

基本理念



基本方針

【保存管理】

- ・遺構とともに「空」「大地」「森」で囲まれた環境を維持する保存管理
- ・三千年後の未来にも縄文文化や自然を伝えるため、遺構と自然を一体的に保全管理する。

【活用】

- ・「空」「大地」「森」などの環境も活かした多様な活用
- ・本質的価値を的確に伝えとともに、自然を活かし共生した暮らしが体験できる機会を提供する。

【整備】

- ・史跡と「空」「大地」「森」で囲まれた環境を保全・活用する整備
- ・三千年もの間、縄文人が暮らしてきたいにしえの浪漫を感じ、浸れる場を提供する。

【運営・体制】

- ・多様な活動が行える市民、事業者、専門家等が関わる体制
- ・市民や事業者が積極的に関わる体制とする。

図 5-3 基本理念および基本方針